

# 常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第74号 2018年2月15日

## 2月3日 常盤台&百合ヶ丘 豆まき!!



そもそも節分とは…本来、「季節を分ける」つまりは「季節の変わり目」のことを意味しています。

昔は、季節の分かれ目には「邪気」が入りやすいと考えられており、  
古来中国では「鬼遣（おにやらい）」という鬼を追い払う邪気祓いが行われ、  
奈良時代に日本に伝わったのが始まりだそうです。



そんな今年の鬼たちは大忙し！ 常盤台と百合ヶ丘で大暴れ！ そんな鬼たちの1日を追っていきます★

8:30



常盤台で鬼メイク★ 鬼の3つの神器…  
金棒・アクリル絵の具、スプレー式の化粧水！  
絵具が乾燥して剥がれ落ちない様にする、  
これが鬼メイク定番テク！)

9:15



鬼メイクのまま  
百合ヶ丘へ移動！

10:00



百合ヶ丘到着、そして早速大暴れ！

11:30



常盤台へ戻りひと時の休憩。

14:00



今年の年男・年女の皆様と、お神酒一緒に清めました。



屋上から厄払い開始！  
鬼たちも大暴れ！！



各番街へ逃げては襲撃を繰り返す鬼たち



高橋看護師 vs 鬼



邪気は私が追い払いますヨ

16:00



チーム常盤台と入居者の皆さまの  
完璧な連携で追い払われる鬼たち



「すみません！我々が  
悪うございました!!」



今年も怪我なく邪気を払う事が出来ました。  
協力いただいたご家族の皆様、ありがとうございました！！



# チーム常盤台 第8弾 常盤台のケアエイド特集!

ケアエイド特集の3回目は「リネンエイド」の皆さんをご紹介します。

カラフルなエプロンを身につけ、皆様のお部屋のベッドメイクと清掃を行っています。

ほとんどのメンバーが常盤台開設年度からの職員という、まさに常盤台の生き字引とも言える方々です。



二人一組で作業します。



見て下さい!  
この美しい仕上がり!



トイレもピカピカです!



カフェマルシェでは準備、接客もしています。



施設の入り口で販売している大好評のポーチなどは池田さんの手作りなのです! 来所時にはぜひお手にとって見て下さい。

## Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”“人” etc があると思います。このコーナーではそんな人の“Only One”をご紹介します!

### 3番街・二木寅吉さまの Only One

「抑留生活の厳しさとシベリアの寒さに比べれば、今の生活は楽なもんだ……」は、父の口癖。二木家は信州松本城主小笠原家の家臣の末裔、というのが父の誇り。そんな父の抑留生活のエピソードを紹介します、とご長男の千秋様。父は満州の地で日本国陸軍に入隊、昭和20年の終戦と同時に旧ソ連に連行され、極寒の地シベリアでの抑留生活がはじまりました。

#### エピソード壹

抑留中は“タバコ”が配給されたが自分はタバコを吸わないので、タバコが好きな同僚のパンと交換した。おかげで空腹が満たされ生き延びることができた。

#### エピソード貳

歯の治療を受けるため行列に並んだ。列の後ろから割り込んで前に出てくるのは決まって日本軍の上官。同じ列に並んでいたロシア人はそのような事なかった。優しいロシア人も多かったなあ。

抑留生活は3年間に及び、帰還したのは昭和23年。

鶴見区で食品関係の小売業を始めてからは、早朝から中央卸市場に行き、夜は8時ごろまで、真面目に一生懸命、仕事をしていた父。それを支えていたのが“侍の末裔としての誇り”と“シベリアの抑留生活”だったと思います。そんな父を私は“誇り”に思います。



#### 編集後記

施設入り口では、組紐教室で作成した組紐ストラップなども販売しています。来所の際にはポーチ等と併せ、是非お手にとってみてください。